



500号記念キャンペーン中! 「敬天愛人=せごどん」

酷暑お見舞い申し上げます。

Support Jungle Club Co.,Ltd.

クリスティア



(一社)日本 UNEP 協会

環境社会新聞

「新しい未来へ」自然の怒り

ありがとう

PDF閲覧用
今月のパスワード
本紙に記載

発行人: 堤九十生
環境社会新聞社
〒621-0262
京都府亀岡市畑野町広野平井3-17
☎0771-28-5041
FAX0771-28-5042
info@kankyousyakai.com

年間購読定価(税込)
カラー1部
・年 7,777円/個人
21,600円/法人
モノクロ1部
・年 3,888円/個人
10,800円/法人
振込先
三井住友銀行・天満橋支店(普)1464019
ゆうちょ銀行
00960-4-298566

●第73回広島&長崎平和式典、平和の叫び!

8月7日・9日第73回平和式典が、世界85ヶ国及び欧州連合と国連事務総長の初の出席で行われたが核軍縮は停滞したまま、平和の叫びは広島長崎の空に虚しく響いた。

牙を剥き出す気候変動! 本格的に 最高気温連続更新、熱中症死者続出

西日本の豪雨災害に続いて世界各地で発生する気象現象は科学者が警告し予期していたこと、自然災害ではなく人為的災害ともいえる。

NPO法人環境生態工学研究所の須藤理事長は8月1日発行のイーテック・ニュースレターで次のように叫んでいる。

「平成30年7月に襲った豪雨は、私たちがこれまで経験したことがない大洪水に襲われ、200名を超える方々の人命が失われた。心から哀悼の意を表するとともに被災された多くの方々に心からお見舞い申し上げます。このような豪雨は急激な海水温の上昇に伴う線状降水帯の形成によるものとされているが、(今後も)頻繁に起こる可能性が高い。

いよいよ本格的に気候変動も牙をむき出したといえる。このような大豪雨はわが

気候変動対策、遅すぎるわが国の対応

国のどこでも、また地球のどこでも起こり得るといえる。パリ協定をはじめ世界中の人々が気候変動対策に本気で取り組む時期にきている。わが国は気候変動問題に対して対応が遅すぎる。」

「結びの会」 環境社会新聞・コリアンワールド・自然冷媒協と連携(結び)を合意

8月5日コリアンワールド(教育文化ジャーナル 大阪市中央区島之内 李 相善 理事長)と弊紙は大阪市内で初面談し日本自然冷媒推進協会と共に「結び合い」相互協力して交流を深めることを合意確認した。



理事長 李 相善 氏

本流(叫び)

国連事務総長の叫び

国連事務総長アントニオ・グテーレス氏は昨年未だに開催された第3回国連環境総会で、「政府、産業、科学分野、そして市民社会のリーダーによる、迅速で大規模で連携された措置が緊急に必要。すでに汚染を防ぎ、緩和し、管理するための多くの知識と科学的な解決策は解っている。汚染のない地球を創生するには、長期的な努力が必要。すべての国の政府に呼び掛けることで、強力な指導力を発揮することを期待している。」と述べている

(左写真) : 国連環境計画機関誌44号



「環境社会新聞」独立

地域版希望者募集!

お問合せ...メール又はFAX

メール: info@kankyousyakai.com
FAX: 0771(200)5042